

「商人の道」

農民は連帯感に生きる

商人は孤独を生き甲斐にしなければならぬ

総ては競争者である

農民は安定を求める

商人は不安定こそ利潤の源泉として

喜ばねばならぬ

農民は安全を欲する

商人は冒険を望まねばならぬ

絶えず危険な世界を求めそこに

飛込まぬ商人は利子生活者であり

隠居であるにすぎぬ

農民は土着を喜ぶ

大地に根を深くおろそうとする

商人は何処からでも養分を吸いあげ

られる浮草でなければならぬ

其の故郷は住むところすべてである

自分の墓場はこの全世界である

先祖伝来の土地などと云う商人は

一刻も早く算盤を捨てて鋤を取るべきである

石橋をたたいて歩いてはならぬ

人の作った道を用心して通るのは

女子供と老人の仕事である

我が歩む処そのものが道である

他人の道は自分の道ではないと云う事が

商人の道である